

新型コロナウイルス感染症に的確に対応するため

議会BCPをバージョンアップしました!

大津市議会では、平成26年に地方議会初の業務継続計画として、「大津市議会BCP」を策定しており、これまで、主に地震や豪雨災害のような自然災害に重点を置いて改定してきました。

しかし、今般の新型コロナウイルス感染症対策では、全く異なる対応が求められることが判明したため、感染症にも的確に対応できるよう、議会BCPのバージョンアップを行いました。

改定した3つのポイント

感染症発生時の議会BCPの発動基準と行動基準を明確化

感染症は徐々に被害が拡大するところが自然災害と違うから、別に基準や指針を作ったんだね



感染症対応の行動指針の中で「オンライン会議の活用」の推進を明示

参集することでリスクが高まる感染症では、オンライン会議の活用を視野に入れる必要があるんだね



今回のコロナ禍における議会運営の事例を詳細に掲載

ひとつちに感染症といっても、時期や種類の違いなどで、その時々への対応は変わるから、今回の事例も今後の迅速な判断のための材料とするんだね

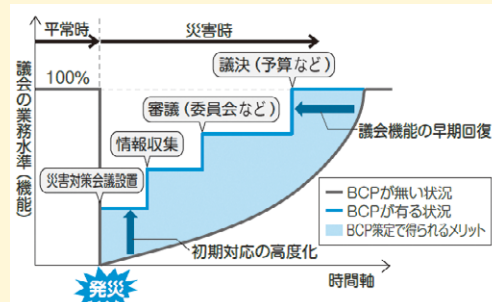


BCP?



災害などの緊急事態発生時に重要業務が中断しないよう、また万一中断した場合も迅速に再開できるよう、復旧対策の手立てを事前に策定しておく計画のことです。

大津市議会では、災害時の議員や職員の行動指針を予め決めておくといった災害初期対応の高度化により、議会機能の早期回復に努めています。



議会BCPの全文はHPでご覧いただけます

クリック to リンク

HP → 議会改革の取り組み

→ 議員提案条例・計画



感染症対応に係る議会BCP改定の取り組みは、早稲田大学マニフェスト研究所が主催する「第15回マニフェスト大賞」において、関西エリアの優秀賞候補に選ばれました。

MISSION ROAD MAP 2019

議場の傍聴席への聴覚障害者用モニター設置を決定!

コロナ禍で運用を一時停止していたミッションロードマップ2019ですが、可能な範囲で少しずつ取り組みを再開しています。その一つとして、議場の傍聴席へ聴覚障害者用の字幕が表示されるモニターを設置することについて、議会運営委員会で議論し、令和3年度から設置に取り組むことを決めました。



次回

11月通常会議の予定

11月25日(水)	本会議 (議案の提案説明)
12月3日(木)～8日(火)	本会議 (質疑・一般質問)
10日(木)	予算決算常任委員会 (補正予算の審議)
14日(月)	各常任委員会

12月16日(水)	予算決算常任委員会 (補正予算の討論、採決)
18日(金)	各特別委員会
22日(火)	本会議 (討論、採決)

※日程を変更することがありますので、市議会ホームページをご覧ください。

UD FONT

おおつ市議会だよりでは、ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザイン文字を採用しています。

※次回の発行は2月上旬の予定です。